

住宅リフォーム支援事業


 〇 都市計画課 ☎72-5246

市民のみなさまが市内業者を利用して、住宅のリフォームまたは増改築を行う場合に、補助金を交付する制度です。対象となる工事の種類と補助額は下記の4種類です。

①住宅のリフォーム・増改築工事

工事費の **10%** 最大 **20万円**

②耐震・断熱、省エネ、バリアフリー、屋根の克雪対策に有効な工事

有効な工事費の **10%** 最大 **25万円**

注目

③18歳以下の子どもが3人以上同居している世帯が行う工事

工事費の **15%** 最大 **30万円**

注目

④空き家を購入し、18歳以下の子どもが同居している世帯が行う工事

工事費の **20%** 最大 **40万円**

【注意事項】

▽①～④の申請は併用できません。▽④の空き家は、平成28年10月1日以降に取得した築10年以上の住宅に限ります。▽交付決定後に工事着手するものが対象です▽補助金の交付申請は、同一年度内に一回限りです。▽前年度までに本事業を利用された方は、先に受けた補助金と合わせて、それぞれの限度額までの補助となります。

◇対象となる方

- 市に住民登録をされている方
(工事完了後に市内に転入する方を含む)
- 市税等を滞納していない方 (同居家族含む)

◇対象となる住宅

- 市内にある住宅 (別荘等を除く)
- 賃貸 (賃貸予定も含む) をしていない住宅
- 併用住宅は、住宅部分が面積の2分の1以上の住宅
- 申請者又は親や子が所有し、かつ居住する住宅
- 市長が同等と認める場合

◇対象となる工事

- 補助対象となる工事費用が50万円以上の工事
- 平成30年3月16日までに完了報告ができる工事
- 市内に本店のある業者又は住民登録された個人事業主が施工する工事

(補助対象とならないもの)

▽対象工事が重複する市補助制度の補助金に相当する費用 (木造住宅耐震補助、浄化槽設置補助、介護保険住宅改修費支給など) ▽公共工事の施行に伴う補償費の対象となる工事費用 ▽門・塀等、いわゆる外構工事費用 ▽重複計上認められていない他の補助制度を利用する工事費用 ▽補助金の交付が適当でないと思われる工事費用 ▽築1年以内の住宅

◇申請場所及び方法

- 申請場所** 都市計画課 (森吉庁舎)、生活課 (本庁舎)、合川及び阿仁総合窓口センター
- 申請方法** 工事着手前に補助金交付申請書に次の書類を添付して提出してください。

- ①～④共通 工事契約書又は請書の写し/内訳明細書又は見積書の写し/工事着工前の写真 (施行箇所がはっきりとわかる写真) / その他必要と認める書類
- ※②～④の場合は上記に加えて、次の書類も必要
- ②指定様式による工事概要書/指定見積書/図面
- ③戸籍謄本等 ④戸籍謄本等/空き家住宅証明書/建物の不動産登記簿謄本の写し/売買契約書の写し



平成29年 春の叙勲 ～長年の功績をたたえて

平成29年4月29日に発令された、平成29年春の叙勲の市内受章者を紹介します。

※年齢は発令時点

春の叙勲
瑞宝双光章

かなざわ ひろし
金澤 博さん
(掛泥・70歳)

— 郵政事業功労 —



昭和54年から30年間にわたり、郵便局員として郵政事業の発展に尽力されました。

在職中は、62年から平成22年まで岩瀬郵便局長を務めました。この間、6年から県北部特定郵便局長業務推進連絡会の理事、副会長、会長を歴任し、地域の身近な郵便局としての機能強化に努めました。

受章について「郵政民営化のときは、資格取得やシステム移行などで大変苦労したが、無事に移行できて本当によかった」と振り返り「受章は、同僚や先輩、職員のおかげ。妻の内助の功もあり仕事を続けることができた」と感謝の気持ちを表しました。

春の叙勲
瑞宝単光章

なりた むつこ
成田 睦子さん
(李岱・70歳)

— 児童福祉功労 —



昭和42年から40年間にわたり、保母として健全な保育業務の遂行に努力し、子どもの健やかな育ちの確保と保育水準の向上に尽力されました。

在職中は、合川西保育園長、平成18年に統合したあいかわ保育園長を歴任。子どもの理解こそが保育目標の具現に最も必要な資質・能力であるとの信念で、常に子どもの目線に立った保育を心掛けました。

受章について「子どもたちが成長し、卒園で小学校に送り出す時が一番の喜び」と振り返り「受章は先輩や同僚、家族など多くの人の支えがあったから」と周囲への感謝の気持ちを語りました。

春の叙勲
瑞宝単光章

すずき よしたろう
鈴木 由太郎さん
(向本城・72歳)

— 消防功労 —



昭和41年から45年間にわたり、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域の防災体制の充実強化に献身的に尽力されました。

平成17年副団長、21年に団長を歴任。在職中は、地域住民に防災意識の高揚を呼びかけるなど防災体制づくりの強化充実に献身的に活動しました。また、防火体制充実のため、防火水槽や消防水利の整備、小型動力ポンプ等の整備強化に努めました。

受章について「地域防災に携わることは、自分に課せられた任務で、常に消防活動を優先した。協力してくれた地域住民に感謝したい」と語りました。

春の叙勲
瑞宝単光章

みなと さちお
湊 幸男さん
(比立内・85歳)

— 消防功労 —



昭和26年から45年間にわたり、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域消防や防災活動の充実に尽力されました。

消防団の班長、部長を歴任し、平成3年から副分団長を務められました。在職中は、郷土愛護と奉仕精神のもと業務に精励し火災現場においては、いち早く駆けつけ、勇猛果敢に消火活動を展開しました。

受章について「災害現場では、常に安全な活動を意識し、同僚らと声を掛けあいながら、人の動きに気を配った」と振り返り「受章は同僚や妻の支えがあったから」と感謝の気持ちを表しました。